

<p style="text-align: center;"><b>市長への手紙</b></p> <p style="text-align: center;">(今までの主なご意見と回答)</p>	受付日	令和 6年10月 7日
	回答日	令和 6年12月 6日
件 名		
認知症のかたがたとのコミュニケーションの技法であるユマニチュードについて		
内 容		
認知症の方々とのコミュニケーション技法であるユマニチュードを通じて、認知症患者と向き合ってほしい。病院や介護施設の離職率の低下にも繋がるのではないか。		
回 答		
<p>ユマニチュードにつきましては、認知症のかたに優しさを伝えるコミュニケーション技術を使ったケア手法の一つとして、一部の自治体や施設において活用されているものとして承知しております。</p> <p>認知症ケアの手法には、ユマニチュードをはじめ、回想法やバリデーションなど多様な選択肢があることから、本市といたしましては、介護者や支援者が、認知症の進行の程度や症状にあわせて、最適な手法を選ぶことができるよう情報提供に努めております。</p> <p>このことから、現在のところ、ユマニチュードに関する実践的な市民向け講習や、既存の講座への導入については予定しておりませんが、認知症介護のご相談で来庁されるかたや、認知症カフェなどに参加される介護者に対し、他のケア手法とあわせて、関連書籍の展示やウェブサイトのご案内を行っております。</p> <p>また、大和市立病院では、患者さんが治療内容や看護等についてご納得いただけるように、丁寧でわかりやすい説明を心掛けるとともに、患者さんへお伝えする際につきましても、身振り等を加えるなど、配慮して行っております。</p> <p>今回頂いたご内容につきましては、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>		
事務担当課	人生100年推進課（046-260-5612） 病院総務課（046-260-5781）	

※掲載している回答の内容は、回答した時点の市の見解となります。

その後の制度変更などにより、最新の市の見解と異なる場合がありますのでご了承ください。